

平成26年度 保護者アンケート実施状況報告書

青森県立八戸北高等学校

本校では、「地域に信頼される学校」を目指し「よりよい学校づくり」に資するために、教育活動その他の学校運営に対して保護者の方々から評価をいただき、その結果を基に学校改善を図る学校評価システムを導入しています。

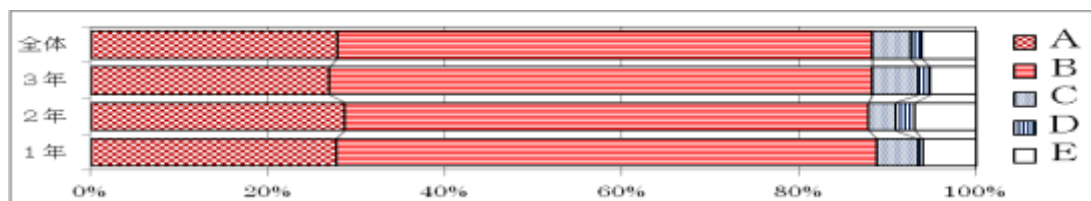
平成26年12月に実施した保護者アンケートの結果を掲載しましたので、ご覧ください。評価項目は、学校運営に関するもの、教育活動（教科指導）に関するもの、教育環境等に関するものと、大きく3つに分けてあり、それぞれの項目に対する回答として、Aは「そう思う」、Bは「どちらかと言えばそう思う」、Cは「どちらかと言えばそう思わない」、Dは「そう思わない」、Eは「わからない」を示しています。

今回の結果では、大半の項目においてAとBを合わせた肯定的な回答が80%前後あるいはそれを上回っていますが、全体的に例年よりA・B以外の占める割合がやや多くなっています。

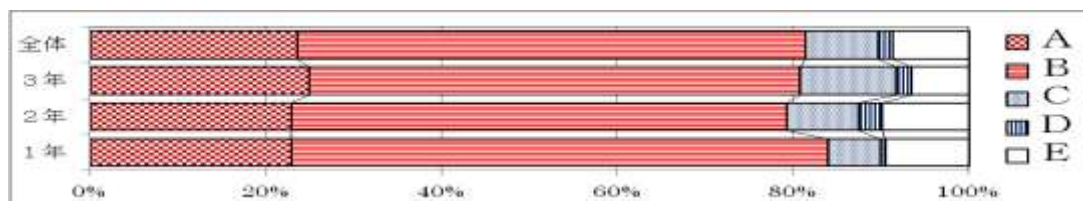
今回の結果を十分に検討し、次年度の学校運営、学年経営等に生かしていきたいと思います。なお、今年度のアンケート提出数は692件で、回収率は97%（昨年95%、一昨年93%）でした。保護者の方々のご協力に感謝申し上げます。

1 学校運営

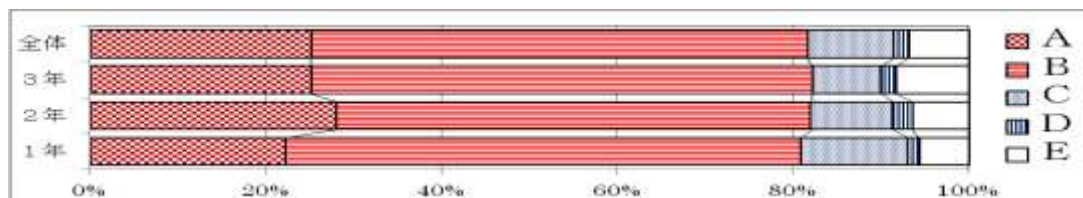
① 学校教育目標（※p.6の参考資料Ⅰ参照）が、生徒や学校の実態や社会の要請に即したものになっている。



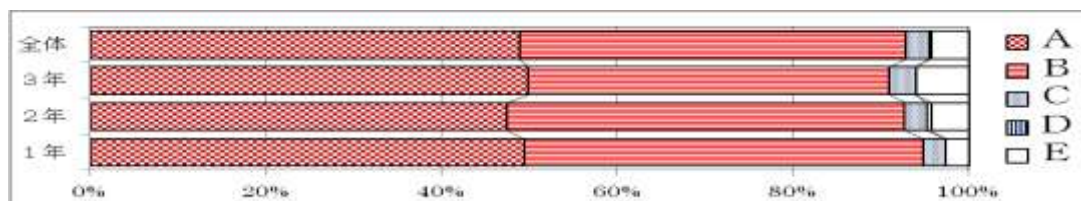
② 努力目標（※p.6の参考資料Ⅱ参照）を達成するために、教職員が一致協力し、円滑な学校運営がなされている。



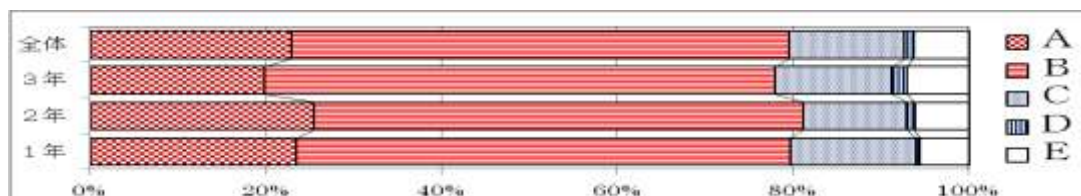
③ 生徒が生き生きとして充実した高校生活を送れるような学校づくりに努めている。



④文科省指定スーパーサイエンスハイスクールを核とした特色ある学校づくりに取り組んでいる。

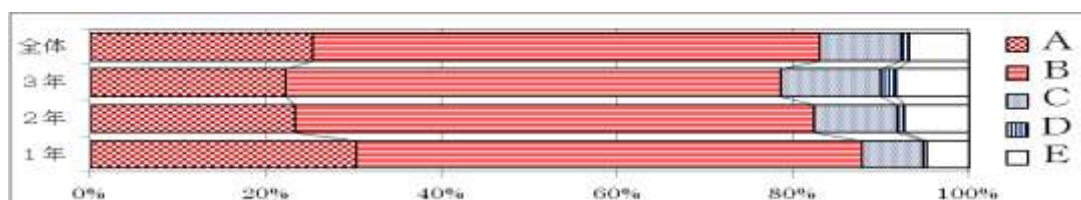


⑤学校や学年の教育目標や指導計画等が、分かりやすく説明されている。

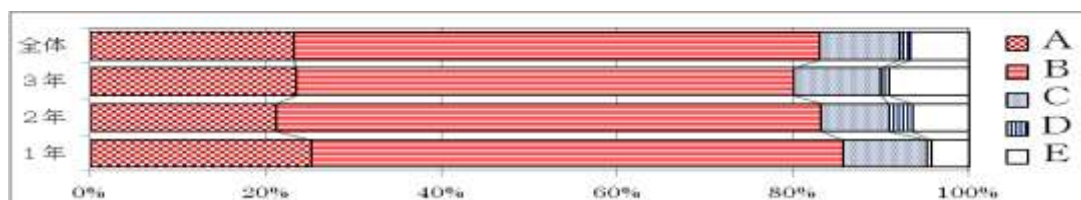


2 教育活動（教科指導）

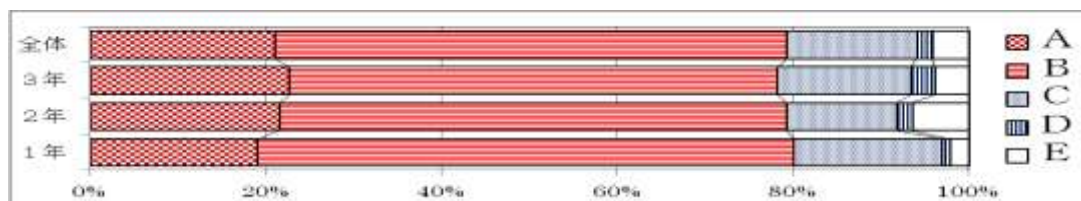
① 徒の進路や興味・関心に配慮した多様な選択ができる教育課程の編成がなされている。



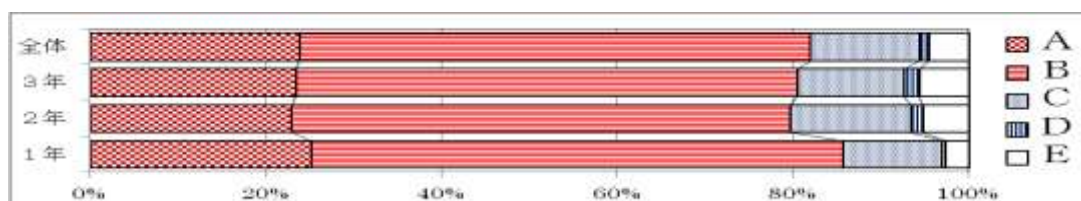
②生徒の進路志望の実現を目指し、わかりやすくかつ学力のつく学習指導が実践されている。



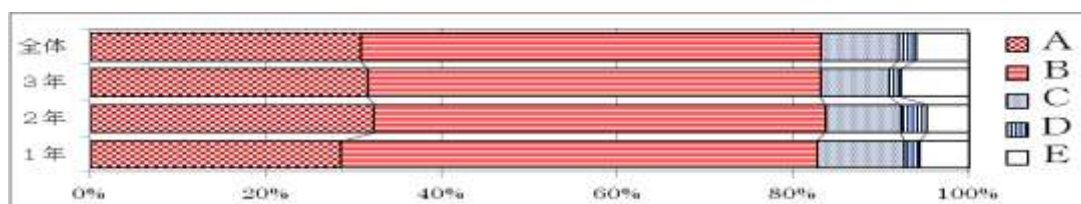
③学習の評価方法が、保護者や生徒に分かりやすく説明されている。



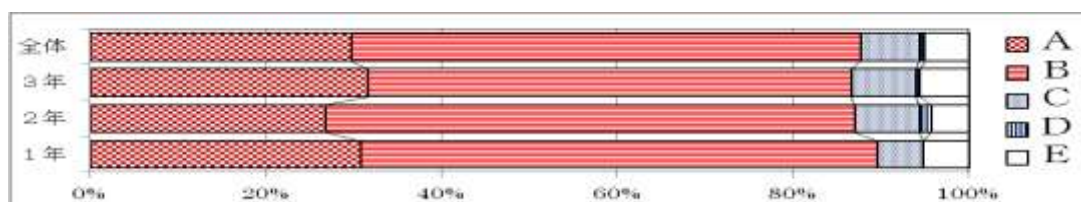
④生徒の進路選択・決定にあたり、情報の提供や、保護者と連携した適切な指導がなされている。



⑤学校行事や部活動を通して、生徒が自主的・自発的に活動し、個性を発揮できるような指導がなされている。

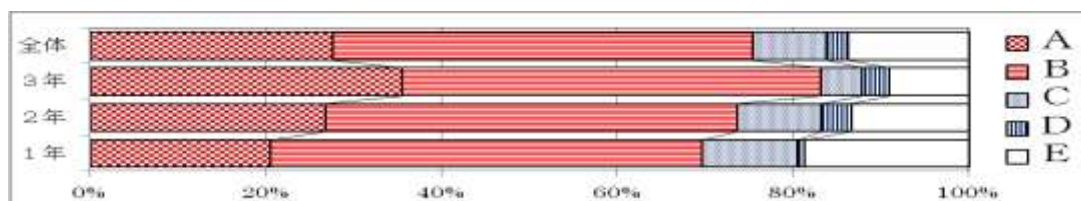


⑥生徒の服装や挨拶、言葉遣いなどがきちんとしており、基本的生活習慣を形成する指導が実践されている。

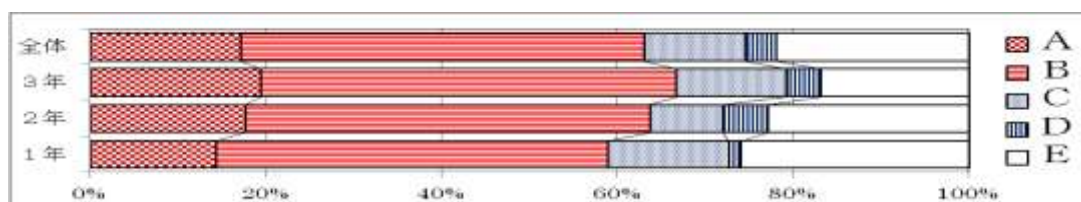


3 教育環境・その他

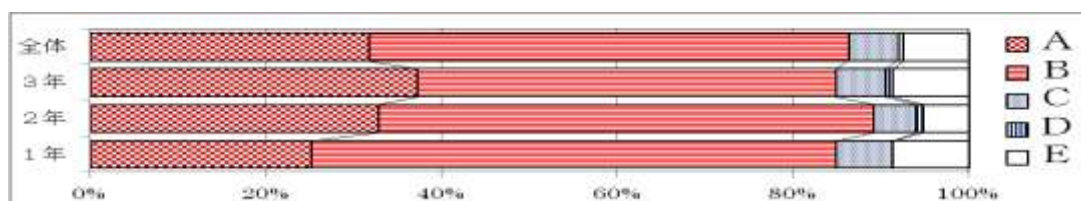
① 生徒の事故・怪我・病気に対して、家庭と連携した対応が適切に行われている。



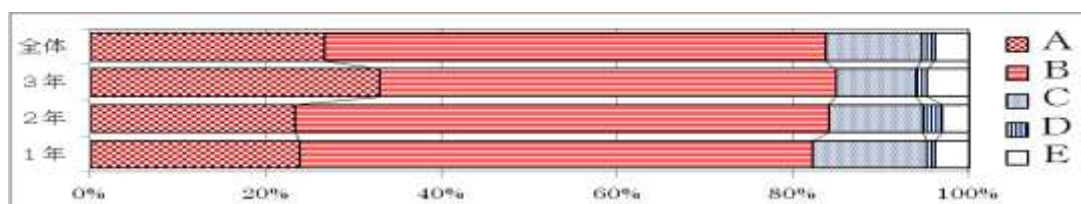
②養護教諭の複数配置、スクールカウンセラーの活用をはじめ、生徒一人一人の悩みや相談に応じた親身な指導がなされている。



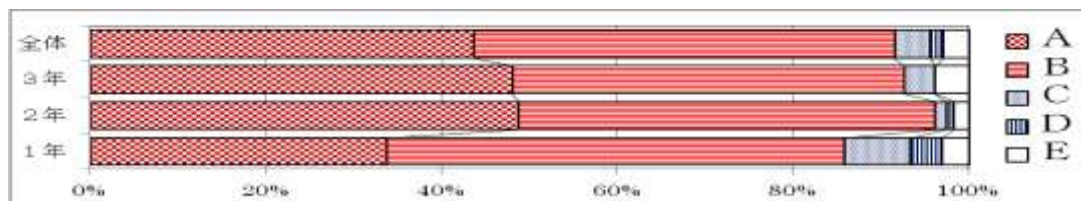
③SSHの活動内容が、学校ホームページ、文化祭展示、課題研究の発表会（日本語・英語）、新聞報道等を通して周知されている。



④PTAの集まりや学校HP、さらには配布物等によって学校の様子を伝える努力がなされている。



⑤副教材費や学年費等の納入金について、その趣旨や会計報告が分かりやすく説明されている。



※参考資料

I【平成26年度学校教育目標】

- ① 自主的精神に充ち、謙虚に学んで、豊かな教養を身に付けた人間を育成する。
- ② 個人の価値を尊び、敬愛の念をもち、協調性に富む人間を育成する。
- ③ 常に全体の一員であるという自覚をもち、責任と恩義を重んずる人間を育成する。
- ④ 心身の健全なる発達を図り、公正なる判断力を養い、己の道に徹し、進んで実行する人間を育成する。

II【平成26年度努力目標】

- | | |
|----------------|----------------|
| ① 学習指導の充実 | ② キャリア教育の推進と充実 |
| ③ 理数教育の推進 | ④ 生徒指導の拡充と道徳教育 |
| ⑤ 心身の健康保持と環境整備 | ⑥ 保護者・地域との連携 |
| ⑦ 危機管理意識の向上 | ⑧ 職務遂行上の心構え |

最後に、寄せられたご意見、ご要望の中の主だったものについて下記のとおりお答えいたします。なお、紙面の都合上ご意見等は簡潔に項目立てしておりますのでご了承ください。ご意見等の総数は51件（1年13件、2年23件、3年15件）でした。

【生徒指導関係】

○部活動練習の在り方、指導等について

部活動について、「月1回でいいから、土曜日から日曜日を休みにしてほしい」、「早めに予定等を教えてほしい」、「生徒の精神面に配慮した指導をしてほしい」等の意見をいただきました。

本校では、学業との両立を図ることと生徒の健康面を考慮して、週に一回部活動を休みにする日を設けています。部によって、「土日のいずれか」あるいは「平日の一日」等、休みの取り方はまちまちです。また、定期考査実施の一週間前からは、地区大会や県大会が考査直後に予定されている等の特別な事情がない限りは、部活動は行わないことになっています。これからも、生徒に過度の負担がかかることのないよう、部活動練習の在り方には注意を払ってまいります。

また、部活動の予定等を早めに伝達することについては、職員会議及び部活動顧問会議等を通じて、各部で徹底するようにはたらきかけてまいります。さらに、生徒の精神面に配慮した指導の在り方についても、年度初めの部活動顧問会議、コーチ委嘱の機会等を通じて、顧問及びコーチに周知徹底してまいります。

部活動練習の在り方、指導等についてご意見、ご要望がありましたら、顧問または生徒指導部までご連絡ください。

【生徒指導関係】

○生徒の挨拶、通学時のマナー等について

生徒の挨拶、通学時のマナー等について「もう少し元気に挨拶してほしい」、「自転車通学の生徒のマナーが良くない」、「バスでのマナーが悪い」等の指摘をいただきました。

本校では、登下校時の歩行、自転車の運転マナー、公共交通機関利用のマナーについて、学年では担任から普段のホームルームを通じて、また生徒指導部からは全校集会等で、再三指導を繰り返しているところです。また、容儀指導、挨拶指導及び交通安全指導を兼ね、年間をして生徒玄関前に教員が立ち（5月と10月には保護者のご協力も得て）登校時の指導を行っています。今後とも、生徒の自覚に訴えかけて自主性・主体性を引き出せるよう粘り強く指導を行ってまいります。基本的な生習慣の確立につきましては、ご家庭との連携が不可欠と考えております。ご家庭でもご指導いただきますようよろしくお願いいたします。

【進路指導】

○1・2年次の平常講習について

本校では、1・2年次に難関大講習を実施していますが、それとは別枠で「難関大以外の子どもたちにも講習があればいいと思う」「希望者に講習をしてほしい」「講習をもっと充実させてほしい」等の意見がありました。

本校では、平成17年度以前は1・2年生全員を対象に10月から2月まで平常講習を行っていました。平成18年度からは「量より質」を重視する新しい指導体制が導入され、生徒自らの学習を促す指導への転換が図られました。当時、学力向上について議論がなされ、その中で「授業の充実」「二者面談」「声掛け」「放課後指導（放課後の個別指導）」「家庭学習時間を増やす」「難関大対策」等の具体案が出されましたが、これらは現在も継続的に行われています。

学校としては、難関大講習と別枠で講習を行う場合、生徒の学習状況を踏まえた慎重な検討が必要と考えます。まず、授業を大切にする、家庭学習をきちんと行う、予習・復習を徹底する、与えられた日々の添削課題や週末課題等を期日までに自分で解いて提出し、添削後に返却されたら必ず見なおす等、現行の指導体制内で本来行われるべきことが徹底されているかどうか確認する必要があります。「質」の面で充実しているにもかかわらず、「量」の面で充実が図られていないという判断であれば、講習の目的の明確化、指導対象とする生徒の選定、指導の期間などを十分に検討した上で、実施は可能と考えます。

以上の他に、学校施設や情報伝達に対するご要望、今年度7月の重大事案が起こった後の学校の対応に対するご意見等もありました。これらのことにつきましても、可能なかぎり、これからの学校経営に反映させるように努めてまいります。

また、次のような温かい励ましのお言葉等をいただきました。

○先生方の熱意あふれるご指導に心より感謝申し上げます。今後もよろしくお願いします。

○学級担任の先生や部活動担当の先生が親身になってくれて、大変ありがたかったです。

○先生方は、常に生徒のために力を尽くしてくださっていると感謝しております。

○勉強を頑張っている姿、学校での楽しそうな様子から充実した高校生活を送ることができていると思います。

今後も、保護者の皆様や地域の方々のご意見やご協力をいただきながら、本校の学校運営、教育活動のさらなる改善・充実に努めてまいりたいと存じますので、よろしくお願いいたします。